

2024年2月9日 第3460回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *横須賀海洋少年団 団長 道家 一成様

*横須賀海洋少年団 事務局長 泉谷 翔様

<会長報告> *国際ロータリー日本事務局からロータリーレート変更のお知らせ

2月1日から1ドル141円⇒147円

*ガバナー事務所から

・地区ローターアクト委員会開催のお知らせ

2月17日(土) 10:30~11:00 場所: 第一相澤ビル8F「会議室」

・青少年交換合同オリエンテーション交換留学生日本語スピーチコンテストのお知らせ

3月 2日(土) 12:30 学生集合(寒川神社参集殿ロビー)

13:00 寒川神社参拝

14:00 青少年交換合同オリエンテーション
(寒川神社参集殿2F)

15:10 合同オリエンテーション

終了後会場移動(2F→4F)

15:20~17:20 IMに参加

(スピーチコンテスト、次年度派遣学生の紹介等)

・My Rotary 登録率UPキャンペーン実施計画のご案内

*ロータリー財団からメジャードナー認証の品贈呈 岡田英城会員

*ロータリー米山記念奨学会からメジャードナー表彰品贈呈

佐久間博一会員・長尾和典会員

<青少年交換留学生スピーチ> *Ohia-Yuan WEN(Sam)君

<幹事報告> *2024-2025年度版「ロータリーの手帳」予約受付について

*地区研修・協議会実行委員による会場下見および4月16日の実行委員会について

*10,000メートルプロムナードクリーン作戦への出欠回答について

<出席報告> *出席委員会 曾我委員長から2月9日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
119名	107名	73名(2名)	34名	4名	71.30%

メイクアップ: 小沢、北村、齋藤(秀)各会員 地区委員会出席

鈴木(孝)会員 被選理事役員会出席

<ニコニコ報告>

・三 役 横須賀海洋少年団団長 道家一成様、卓話よろしくお願ひ致します。

・児玉、大野 隼、大石、長島、萩原、加藤 備、中村 備、福西、梁井、

植田、江口、柴田、新倉 備、田村、笠木、長尾、寺田、岩崎、

杉浦、澤田、鷺尾、飯塚、前田、徳永、齋藤 眞、平松、根岸 各会員

横須賀海洋少年団団長 道家一成様、お越しいただきましてありがとうございます。

本日の卓話を楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

・三 役 青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君ようこそ!

・八巻、野坂、兼城、高橋、二瓶、濱田、田邊、

勝見、浅葉、松岡、瀬戸、齋藤 眞、岡田 備 各会員

横須賀海洋少年団団長 道家一成様、事務局長 泉谷 翔様、青少年交換留学生 Chia-

Yuan WEN 君 ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。

- ・八 木、木 村、鈴木 備 各会員 誕生月祝いとして
- ・比 護、木 村、永 井、福 西、山 田、上 林、岡田 圭、高 橋、小林 (-)、角 井 各会員
昨晩、2番TMが上林マスター、永井サブマスターによりメルキュールホテルにて開催
されました。職種が建設系メンバーなので大変に盛り上がりました。お忙しい中ご参加
頂きました藤村会長、高橋副会長、角井SAAありがとうございます。また美味しい
料理とお酒、素晴らしい夜景と会場をセッティングしてくれた竹株会員に感謝申し上げ
ます。
- ・比 護、石 田、大野 備、大 石、長 島、八 巻、福 西、鈴木 健、柴 田、
兼 城、長 尾、寺 田、岡田 圭、杉 浦、小山 備、梁 井、濱 田、新倉 健、
瀬 戸、齋藤 眞、岡田 眞、徳 永、小山 備、山 下、根 岸、小林 (-)、飯 塚、
田 邊、Robinson、角 井、鈴木 豊、齋藤 眞、澤 田 各会員 写真をいただいて。
- ・Robinson 会員 Come Party With Me! 2月24日 @Mercure Hotel
- ・石 田、小山 備、小山 備 各会員 21歳の藤井聡太八冠が4連勝でタイトル防衛を決め前人未到の
タイトル戦20連覇で記録更新中です。明るいニュースはいいですね!

<卓 話>

「横須賀海洋少年団について」

横 須 賀 海 洋 少 年 団
団 長 道 家 一 成 様

今日はこのような卓話の機会をいただきまして、本当にありがとうございます。約20年前、横須賀北ロ
ータークラブで同じように卓話をさせていただいて、非常に懐かしく思い出しております。

横須賀海洋少年団は昭和40(1965)年に結団、発足し、今年で59年目、来年は60周年を迎えます。
実は、団員が少なくなり、経済基盤も危うくなる中で、歴史のある横須賀海洋少年団を潰してはならないと
いう話になりました。横須賀商工会議所名誉会頭の小沢さんにご助言とご指導を仰ぎ、加えて岡田さんや事
務局長を務めていただいている泉谷さんらのご支援も得まして、横須賀海洋少年団を支援する「友の会」と
いう組織を立ち上げております。ここに入会していただき、横須賀海洋少年団を支援していただきたいとい
うことが、本日の主旨でございます。

私は、追浜中学の3期生です。団塊の世代の真ん中です。当時の田浦中学は1クラスの人数が50人程度
で、1学年24クラスもあるマンモス校でした。半分に分けた12クラスをもって追浜中学ができ、2年生
と3年生は田浦中学から移ってきたので、私が追浜中学生え抜きの最初の卒業生になります。先般も追浜中
学の同窓会をセントラルホテルで開きましたところ大勢の方がいらしてくださいました。進学した追浜高校
では2期生です。防衛大学校に入りましたのが昭和42(1967)年、もう半世紀以上が経っております。

日本が生存と繁栄を海洋に大きく依存しているということは皆さんご存じの通りであります。管轄海域は、
排他的経済水域を合わせると世界6位くらいの広さがあります。日本の島は6,800ちょっとあります。無人

島がかなり多いのです。尖閣諸島などいろいろと島関係のことが話題になっておりますが、その島があるおかげで日本の海の領域というのは非常に広いということをご認識いただければと思っております。そして、海外への貿易はほとんど船に依存しているということをご改めて認識していただきたいと思っております。重量ベースでは99.6%になります。原油の輸入の中東依存度は88%。日本のエネルギー自給率は11.8%です。

次に日本の商船についてお話しします。私の父親は神戸出身で、日本郵船に入り、そのまま戦争にいき、海軍の軍人としてタイにいたのですが、その後、日本郵船に戻り外交航路の船に乗りました。インド航路とかニューヨーク航路などの船に乗っていたそうです。まだ日本が占領されていた時期でしたので、国旗を掲げない状態で航行していたと話しております。現在の日本の会社が運航する外航船は2,206隻。そのうち日本船籍が12.9%です。世界全体では11%くらいが日本関係の船だそうです。そこに乗っている日本人が2,100人。ちなみに昭和49(1974)年は57,000人ということで、ものすごく減ってしまいました。私の父親が日本郵船にいた頃は、もっと多くの日本人が船会社に勤めていたと思います。内航関係につきましては、国内の貨物輸送、トラック輸送だけではなく、全体では40%なのですが、必要な石油製品、鉄鋼、セメントといった重たいものは、ほとんどを船で運んでおります。私も護衛艦で瀬戸内海などを航行しておりました。

次に国民意識調査ということで、日本海事センターのデータです。「海は好きですか」という問いかけに対して、若い世代ほど海に対する好感度は低い傾向があるようです。海は観光として捉えられているようで、海洋の重要性について十分に理解されていないのではないかという結果が出ております。海が好きな理由は、落ち着く、癒される、心が和む。嫌いな理由は、危険だ、海は怖い、津波はやっばり怖い、というデータが出ております。海洋や船員の重要性については、十分に理解されていないのではないかと思っております。船に乗る機会や船員の仕事ぶりを見る機会が飛行機や鉄道に比べて少なく、学習する機会もないため認識が低いという状況です。これをなんとかしなければいけないということが、国交省で議論されています。いろいろな取り組みが行われており、日本海洋少年団の活性化も入っております。次世代の人材確保、海に関心ある若い人を育てるということをご国としてなんとかしようということなのです。

私は海上自衛官でしたが、海洋少年団の活動に関わったことがほとんどありませんでした。ただ、防衛大学校の2年生の時に、手旗訓練の支援を記念艦三笠で行った覚えが1度だけあります。その時の記念艦三笠艦長は福地誠夫(ふくち・のぶお)さんという方で、横須賀ロータリークラブのメンバーでもありました。海上自衛隊のOBで、最後は横須賀地方総監を務めております。その後、ロータリークラブの理事、三笠保存会の役員を務められ、青少年に対する健全な育成活動のひとつということで、海洋少年団を横須賀に立ち上げられ、初代団長を務められました。団長としては、その後、武田さん、磯崎さん、木下憲司さんが就任し、私が5代目になります。木下さんが市議会議員でいらした時に、補助金の関係で団長を続けることができなくなり、私に話がきたという経緯です。

最初の団員数は113名でした。最多で146名になりましたが、そこから次第に減りまして、私が団長に就いた10年くらい前は20数名に減り、現在は12名です。月に2回から3回くらいの活動をしているのですが、参加者が数名になってきたという厳しい状況です。

いろいろな補助を連盟から受けていますが、財政面も苦しくなっています。防衛大学校の走水海上訓練場にヨットやカッターを置かせてもらい、使用料を払って使わせてもらっていますが、民間と同じ扱いをされ、昔は10万円以下でしたが、20数万円に値上げされました。その後交渉して毎年5%ずつ下げてもらい、現在は10万円くらいになっていると思いますが、そういった財政面を何とかしなければいけないと





ということで、小沢さんに相談しました。「支援できる組織を考えよう」とおっしゃって、友の会を組織しようということで動いてくださいました。

お手元にお配りしたパンフレットに、歴史や趣旨、支援してくださっている方々や役員を掲載しております。そのほか、横須賀海洋少年団のパンフレットもお配りしております。パンフレットに沿っていくつか説明させていただきます。まず、写っている子は卒団して海洋科学高校に進んでいます。彼らも時々来てくれるのですが、このような人材を育てるのも海洋少年団ということをご理解いただきたいと思っております。海上自衛隊に入隊した子もおります。それから横須賀海上保安部

というのがありまして、保安部長が代わるたびに表敬訪問して海洋少年団の活動を説明しております。年末の防犯パトロールや、猿島への運航船、軍港クルーズの運航船の安全点検を行うイベントにも参加したこともあります。

活動の説明を続けます。海洋少年団は横須賀だけでなく日本全体の組織です。日本海上少年団連盟という組織に属しております。次の画像は発足時の集合写真です。当時は大きな規模でした。この子たちも今や平均年齢60歳になっております。卒団生は横須賀の周りにはたくさんいらっしゃるはずですが、記念艦三笠で訓練していると、声をかけてくださる方もおります。次は、記念艦三笠の艦上で結索の訓練をしている画像です。次はカヤックとカッター訓練の画像です。また、観音崎にある慰霊碑「戦没船員の碑」周辺の清掃活動も行っております。「戦没船員の碑」には5年ごとに天皇皇后両陛下が行幸啓され、慰霊碑に供花されるという大きな行事です。最後に、海洋少年団の活動は、世界規模でもあります。世界の海洋少年団連盟にも日本の連盟が加わっております。ほとんどの国では海軍が支援しております。日本では、そういうことがないのが難点です。

海洋少年団へご理解とご支援をいただけるようでしたら、是非とも友の会にご入会いただきたいと思いますと思っております。安全保障関係のお話もしたかったのですが、お時間の関係で以上とさせていただきます。ご清聴いただき、ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 児玉 信藏